

使用ツール

# SKYMENU Cloud

活用シーン

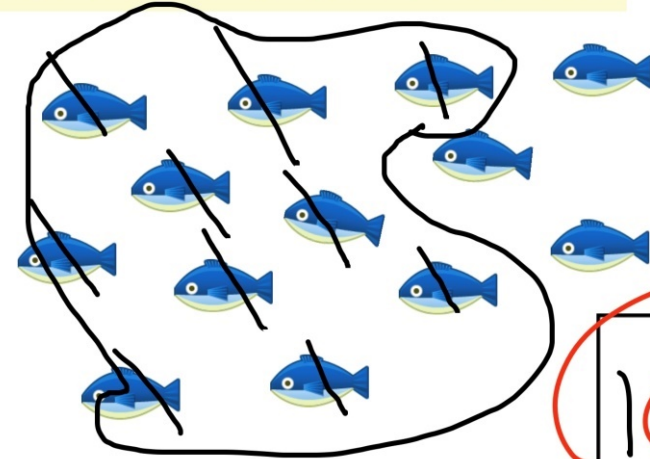
- 「発表ノート」機能で作成した、教科書の類似問題を児童のタブレットに配付した。
- 教科書の問題がはやく終わった児童から、取り組んだ。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- オンラインの児童の定着状況も見届けることができた。
- つまずきやすい問題を把握したり、個々にフィードバックをしたりすることができた。
- ノートに書くときよりも楽しそうな様子で、タブレットの問題をやるために、教科書の問題を頑張る姿もあった。

ぜんぶで5ページあるよ。ちょうせんしてみよう!

①10のまとまりをつかって、かずをかぞえましょう



B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

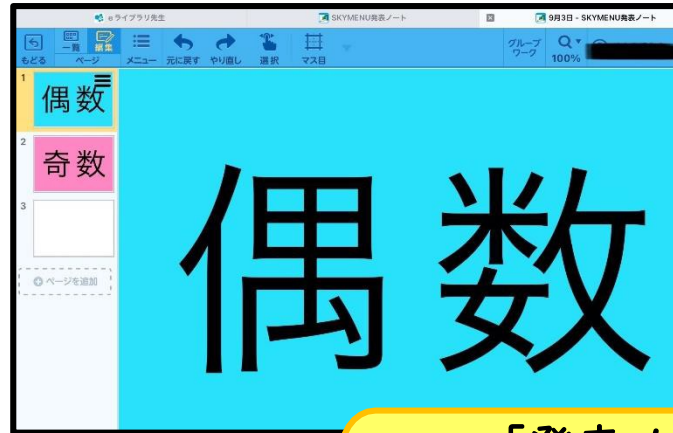
使用ツール

# SKYMENU Cloud

活用シーン

○分散登校中，家庭・教室から，担任が言った数字が偶数か奇数かを答えたり，各自数字を書いたりして意見を表出できるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等  
○口頭で答える場合，間違った答えや無言でも授業が進んでしまうが一人一人の考えを表出できた。  
○オンラインでも手軽に全員の意見を見られた。



◀ 児童個人の画面

「発表ノート」で  
1P 背景青色で 偶数  
2P 背景赤色で 奇数  
3P 白紙のページを準備



◀ 教師用の画面

背景色を変えることで  
児童の意見が一目瞭然



使用ツール

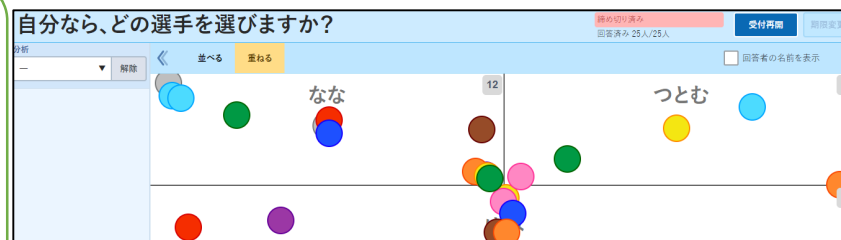
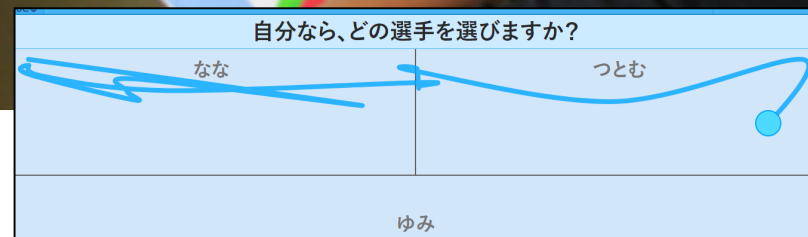
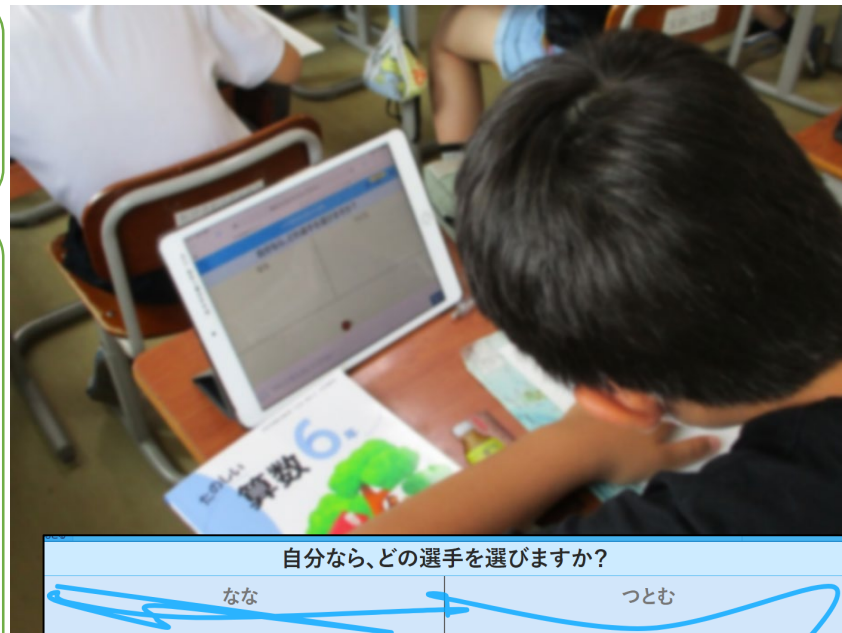
# SKYMENU Cloud

活用シーン

○ポジショニング機能を使い、各々の考えが可視化できるようにすると共に、考えの変容を振り返ることができるようにした。  
 (個人追究後半に第1回目のポジショニング。全体交流の後、本時を振り返る時間に2回目のポジショニング。それぞれの理由については、ノートの記述。)

子どもの姿・授業の様子、成果等

○子ども同士で意見交流をして、考えを確かにしたたり、見直したり、広げたりすることにつながった。教師は、ポジションを見ながら意図的に指名したり、考えが変容した子にその理由を聞いたりするなどして、本時の学びを深めるための指導・援助につなげることができた。



使用ツール

# Teams (投稿機能)

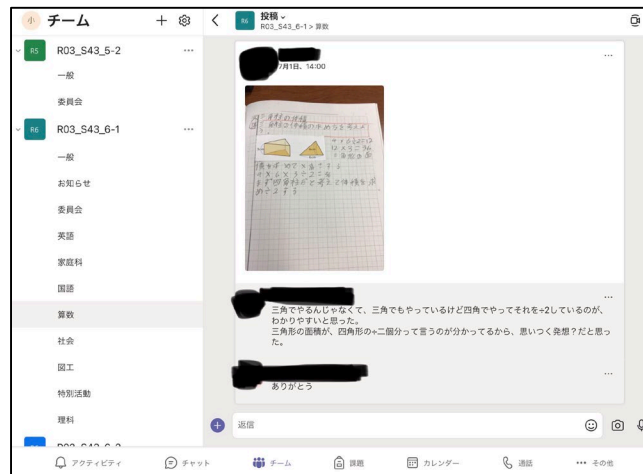
活用シーン

○会話での交流による飛沫飛散防止のため、チャット機能によるペア交流に挑戦しました。

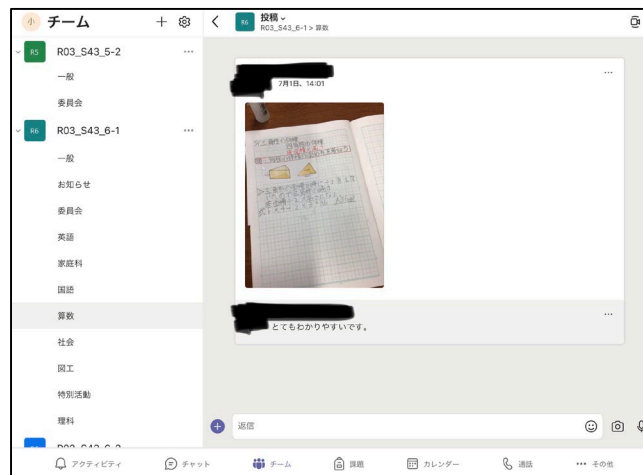
子どもの姿・授業の様子、成果等

○狙い通りに話し合いをして欲しいポイントで話し合いができた児童は少なめでした。ペアになった仲間のノートを見て感想を述べるだけになってしまっただけのペアもありました。

○しかし、どの子も黙々と活動できていました。オンライン授業を行う場合の手段として、チャットによって交流する場の可能性を考えました。



狙い通りに他の人のノートを見て、その人のやり方を説明することができました。



うまく指示ができなかったこともあり、感想を伝えるだけとなってしまったペアもありました。

しかし、例えば図工の作品の写真をアップさせ、その人の作品の良さなどを返信させるなど鑑賞の場で使えるのではないかと考えました。

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理